

杏園祭参加団体各位

平成 30 年 9 月 20、21 日

けが・事故発生時の対応について

杏園祭実行委員会
委員長 近藤佳
総務局 阪上桃花

■各連絡先

杏園祭会室（実行委員会本部 F 棟 501）	【外線 080-7943-5116】
保健センター （D 棟 1F）	【内線 4111 又は 4131 】
学生支援課 （C 棟 1F）	【外線 0422-47-8052 】
警備室（正門、裏門）	【内線 6000】

※内線の場合は、**0422-47-8001** にかけてから内線番号をかける。

< 保険担当者連絡先 >

- 1 総務局 伊藤佑季 : **090-6470-7313**
- 2 総務局 佐々木瞳 : **080-3169-2787**

< 杏園祭実行委員会 >

会室 : 080-7943-5116
委員長 近藤佳 : 080-9187-1844

■杏園祭全体を通じての注意事項

- ・けが人、体調の悪そうな方を発見次第このマニュアルに従い行動すること。
- ・自分 1 人で判断に困った場合は実行委員に相談すること。
- ・状況によっては連絡先が前後すると思うが、
けが・事故発生時には**必ず保険担当者に連絡することを忘れないこと。**

1 けが人・病人が発生したとき

基本的には以下のように判断する。

軽傷：自力で歩行が出来る程度の怪我

⇒ ① **保険担当に連絡**する。

② 保健センターまで案内する。

重症：自力で歩行ができない怪我（骨折、頭部打撲など）、急な体調不良

⇒ ① **早急に保健センターと学生支援課に連絡**する。
（無理に動かさないようにする）

② **保険担当に連絡**する。

※ 119番、110番への連絡の判断は保健センター、学生支援課が行う。

※ 保険担当が現場に行くまで付き添うこと。

※ **担架・車いす**が必要な場合は、まず**保健センターや学生支援課に連絡**すること。素人が操作するのは困難であり、非常に危険なため、**学生だけでは絶対に操作しない。**

■ **保健センター** への連絡方法

0422-47-8001 にかけて自動音声流れるので、
そこから保健センターの内線 **4111** または **4131** にかける。

慌てず、臨機応変に対応すること！

2 事故または物品・建物破損を発見したとき・近くの人から報告を受けたとき

■ けが人の有無を確認

けが人なし ⇒ ①近くにいる**実行委員にその旨を伝える。**
②実行委員が現場に到着するまで**人を近づけないようにする。**
③その後の実行委員からの指示に従う。

けが人あり ⇒ 軽傷：①**保険担当に連絡**する。
②保健センターへ案内する。
重症：①早急に**保健センターに連絡**する。
②**保険担当に連絡**する。

※まずは、けが人に対する処置を最優先にする。

※危険回避と現場保存のため、実行委員が到着するまで
事故現場に人を近づけないようにする。

※重大な事故やけが人が出た際には、慌てずに周囲の人に協力を求め、
冷静な対応を心がける。

※個人のプライバシーを尊重し、関係者以外には口外しないこと。

※写真や動画の撮影及び録音、SNS等への投稿は一切禁止とする。
事故現場への対応には学内者だけでなく、学外者にも細心の注意を払うこと。

震災、災害が発生した際には放送の指示に従って行動すること

【地震が起きた場合】

- ・ **建物内にいるときはその場で待機し、建物外にいるときは近くの建物に避難する。**
- ・ 窓や棚、ガラスなど割れたり中の物が飛び出しそうなものから離れる。
- ・ 机の下にもぐるか、バッグ・布類などで頭を覆うなどして、落下物から頭と手足を守る。
- ・ 余裕があれば、ドア付近にいる人は、ドアを開け出口を確保する。
- ・ 火器を使っているときは、使用をやめ、身の安全を確保する。
- ・ エレベーターに乗っていたら、**全てのボタンを押す。**
閉じ込められたら救援を待ち、体力温存のためむやみに大声を出さない。

～放送が入った後～

- ・ 放送が入り安全が確保されるまでは、静かに室内で待機する。
- ・ 「押さない、かけない、しゃべらない、戻らない」を守り、冷静に行動すること。
- ・ 集団にいる際には、決して自分ひとりで行動しない。
- ・ 個人の憶測等での行動は控えること。
- ・ 身の安全を第一とし、指示を待つようにしてください。

【火災が起きた場合】

- ・ **避難する際はバスロータリー前の広場(キャンパスプラザ)に避難する。**
- ・ 火災を見つけた場合周りに**大きな声で知らせる。**
- ・ 火が小さい場合は消火器等で消火を行う。
- ・ 火が天井まで燃え広がっている場合は直ちに避難する。
- ・ 避難する際余裕があれば燃えている部屋の窓、ドアを閉め避難する。
- ・ 避難する際「押さない、かけない、しゃべらない、戻らない」を守る。
- ・ **ハンカチ、衣類などで鼻、口を覆い、態勢を低くし煙を吸わないように避難する。**

AED 設置場所について

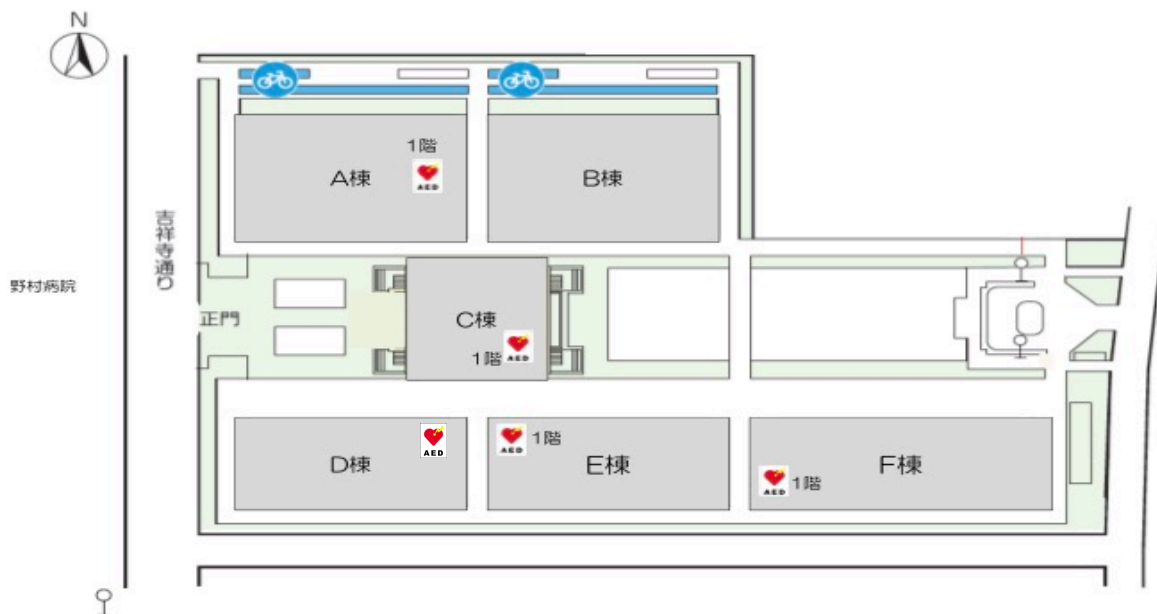
- ① A 棟 1F 正面入り口
- ② C 棟 1F エレベーター付近
- ③ D 棟 1F 東口
- ④ E 棟 1F 西口
- ⑤ F 棟 1F 西口

の 5 カ所に設置されています。

※AED の設置場所を把握しておくこと。

※心肺停止が確認された場合、AED の使用と同時進行で
保健センター、実行委員に連絡すること。

杏林大学 井の頭キャンパス AEDマップ



杏林大学 KELC による
AED の使い方

